

日時：2023年12月23日（土）14:00～17:00  
 東洋大学 白山キャンパス 2号館 3階 第1会議室

日本パーソナリティ心理学会第154回常任理事会議事録

出席：松田英子理事長、尾見康博副理事長、小塩真司、文野 洋、田中麻未、中村 真、  
 向田久美子、森 津太子、武田美亜

報告事項

I 理事長挨拶

II 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（小塩委員長）

(1) 機関誌掲載情報

第32巻3号 2024年3月発行予定（2023年12月末までに採択された論文が掲載）

原著1篇，ショート6篇（うち事前登録研究1篇）

32巻3号		
ショート	恋愛へのパッションと恋愛関係の形成・維持への動機づけの関連—パッションの二元論モデルの観点から—	中井 大介
ショート	日本語版モジュール式仕事の意味尺度（ME-Work）の開発	浦田 悠
ショート	幼児の援助行動における目標プライミングの効果	内山 有美
ショート	病理的自己愛傾向と援助要請の関連	亀倉 大地
事前登録研究（ショートレポート）	事前登録研究：不正者についての情報共有に及ぼすシャーデンフロイデの効果	加藤 伸弥
ショート	保護責任者遺棄致死罪で起訴された被告人の性別が一般市民の量刑判断に与える影響	向井 智哉
ショート	サディズム傾向と孤独感の関連—他者操作方略を媒介変数として—	富井 萌
原著	公的自己意識および私的自己意識と孤独感の関連—自己意識の下位側面に注目して	富井 萌

(2) 審査状況

審査状況（2023.12.12時点）

年月	採択	審査中	修正中	不採択	取り下げ	投稿時不採択	投稿数
2022							
1	2	6	4	1	0	0	4
2	3	6	2	0	0	0	5
3	2			2	0	0	7
4	2			2	0	0	4
5	2			4	0	0	6
6	1			2	1	0	4
7	5			1	0	0	3
8	2			2	0	1	0
9	3			1	1	1	1
10	2			0	0	0	3
11	0			0	0	0	9
12	4			1	1		7
計	28	12	6	16	3	2	53
年月	採択	審査中	修正中	不採択	取り下げ	投稿時不採択	投稿数
2023							
1	0			0	0	0	5
2	2			2	0	0	5
3	7			1	0	0	5
4	2			1	0	0	8
5	4			3	0	0	2
6	1			0	1	0	7
7	3			2	1	0	3
8	2			3	0	0	4
9	4			1	0	0	5
10	1			1	0	0	11
11	1						8
12							
計	27	0	0	14	2	0	63

年度	採択	不採択	取り下げ	投稿数
2008	35	15		
2009	31	20		
2010	31	16		
2011	30	17		
2012	36	22	5	84
2013	28	16	5	64
2014	24	25	9	72
2015	33	26	3	71
2016	30	30	12	68
2017	29	25	7	81
2018	35	30	10	78
2019	33	40	8	79
2020	33	30	6	79
2021	31	19	8	57
2022	28	19	3	53
2023	27	14	2	63

## 2 経常的研究交流委員会（田中委員長）

3月開催予定の企画について、以下の通り報告された。

### ・ テーマ

「あなたの研究 Tips ちょっと教えてください」

### ・ 企画目的・概要

「こんなふうに時間管理をしています」「統計ソフトはこれが便利でおすすめ！」「この方法で Web 調査すると便利かも」「論文書くときにはこんな方法でやってます」など、自由なテーマで日常の研究生活でなるべく真似できそうなものの工夫について、各研究分野で活躍されている4名の先生方に話題提供をいただく。興味はあったけど、時間に追われてやったことがなかったことや、意外と知らなかったこの Tips!!などを紹介してもらい、フロアとも積極的に情報交換しながら、さまざまな研究 Tips を共有できる機会を提供したいと考えている。

### ・ 話題提供

下司忠大先生（立正大学）

「Web 調査や文献管理法など」

永井智先生（立正大学）

「文献管理，時間管理，Web 調査など」

大久保圭介先生（東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター）

「縦断調査，ペアデータなど」

武藤拓之先生（大阪公立大学）

「広い意味でのオープンサイエンスの実践に関する tips」

### ・ 司会

唐音啓先生（共愛学園前橋国際大学）

### ・ 実施日時

2024年3月2日（土）13時～（ほぼ確定）

### ・ 実施形態

Zoom でのオンライン開催

## 3 広報委員会（文野委員長）

### (1) 定例の活動（2023/5/27 から 2023/12/23 まで）

ウェブサイトの更新（7回），メールニュースの配信（35回）ML 上での業務調整などの活動内容が報告された。

### (2) YPP

YPP2023 企画担当者と1年目委員を中心に報告書の作成を行った旨が報告され，報告書が提出された。また，次年度 YPP の企画担当者と委員の担当者は現在調整中である旨が報

告された。

(3) 今後の活動予定（継続を含む）

ウェブサイトの更新，メールニュースの配信（随時），委員分担コンテンツの更新を行っていることが報告された。

(4) その他

今後の委員の選定基準について確認した。

4 学会賞選考委員会（向田委員長）

4月に新委員長に引き継ぎを行うことを確認した。

III 日本心理学諸学会連合

松田理事長より，12月16日に開催された会議について，資料に基づいて報告がなされた。

IV その他

本学会初代理事長 故詫摩武俊先生のご家族より拝受した寄付金を基金として学会賞の賞金に充てること、ならびに、学会賞の名称を「詫摩武俊賞（優秀論文賞）」に変更することを松田理事長からご家族にお手紙でお伝えしたところ、先頃、詫摩慶子さまよりお礼状が届いたことについて，中村事務局長より資料に基づいて報告がなされた。

審議事項

I 次期役員選挙の結果について

理事・監事選挙，理事長・常任理事選挙の結果について，以下の通り報告が行われ，審議の結果，承認された。今後，理事会での審議・承認を経て次期役員が正式決定となる。理事会での承認が得られた後，会員へ向けて選挙結果をメールニュースで報告する

投票率向上のための方策について，選挙関連の案内の郵送，督促メールの送信など，今後検討することとした。

(1) 正会員による理事・監事選挙の結果

有権者数 654 名，投票者数 68 名，投票率 10.40%（前回選挙は 17.23%）

理事選挙（5 名連記）の総有効票数 306，白票 34

監事選挙の総有効票数 57，白票 11

### 理事選挙の結果

氏名	得票数	
松田 英子	20	当選
森 津太子	20	当選
田中 麻未	16	当選
小塩 真司	15	当選
向田 久美子	14	当選
岡田 努	11	当選
下司 忠大	11	当選
高橋 雄介	11	当選
文野 洋	11	当選
川本 哲也	10	当選
橋本 泰央	10	当選
尾見 康博	9	当選
森 彩乃	9	当選
武田 美亜	8	当選
北村 英哉	7	当選
中村 真	7	当選
小島 弥生	6	当選
矢藤 優子	6	当選
外山 美樹	5	当選
岡田 涼	4	当選
守谷 順	4	次点 1, 繰上当選
齋藤 彩	4	次点 2
以下散票	124	

辞退

選挙管理委員会による抽選の結果、当選者を決定

選挙管理委員会による抽選の結果、次点順位を決定

選挙管理委員会による抽選の結果、次点順位を決定

### 監事選挙の結果

氏名	得票数	
友田 貴子	22	当選
安藤 寿康	7	当選
岡田 努	4	次点 1
渡邊 芳之	4	次点 2

理事当選

(2) 理事の互選による理事長・常任理事選挙の結果

有権者数 20, 投票者数 19

常任理事選挙(7名連記)の総有効票数 129, 白票 4

理事長選挙の総有効票数 19

理事長選挙の結果

氏名	得票数	
尾見 康博	11	当選
松田 英子	6	次点 1
以下散票	2	

常任理事選挙の結果

氏名	得票数	
田中 麻未	16	当選
中村 真	16	当選
外山 美樹	13	当選
森 津太子	13	当選
小塩 真司	10	当選
尾見 康博	10	当選
向田 久美子	10	当選
武田 美亜	9	当選
川本 哲也	5	次点 1, 繰上当選
守谷 順	5	次点 2
岡田 涼	5	次点 3
以下散票	17	

理事長当選

辞退

選挙管理委員会による抽選の結果, 次点順位を決定

選挙管理委員会による抽選の結果, 次点順位を決定

選挙管理委員会による抽選の結果, 次点順位を決定

II ヨーロッパ パーソナリティ心理学会 (EAPP) との提携・契約等について

松田理事長より, SAGE との契約等について滞りなく進んだ旨が報告された。今年度はユーロで日心から振り込んでもらい, 来年度からは円で振り込めることになるので, JPASS から振り込んでもらうことになっている。

Associate Editor の選出について, 今期は小塩委員が選出された。今後の委員選出方法については常任理事会で選出し依頼することとした。

EAPP 主催のサマースクール (SSPS) への招待参加者の選定について, 今後同様の機会があることも想定し, 「国際学術交流奨励賞」を制定して, この賞への応募という形で募ることとした。今回の募集要項および応募用紙は年内中に作成し, メール審議にて形式を決定して, 年明けにメールニュースにファイル添付の上, 募集開始の通知をすることとした。

### III 財務関連事項（2024年度予算案など）

森財務担当理事より、2024年度予算案について、資料に基づいて費目等の再度確認をするための報告がなされた。

大会論文集アップロード費用、学会 HP・メール運用費を広報委員会の予算内に入れていることについて、当面はこのままとするが、管理費に移して運用ができるか、アップロードのタイミング等について、JPASS と相談しながら検討することとした。

国際学術交流奨励賞の賞金費用について、学会賞選考委員会の予算に入れて予算を立てることとした。

### IV 会員の入退会に関する件

中村事務局長より、別紙資料に基づいて、入会希望者 10 名（ML 審議にて承認済み）、退会者 0 名が示され、審議の結果、承認された。併せて、宛先不明者について報告があった。自動退会者について、承認された。

以上の承認を受けて、2023年12月19日現在、会員総数は 881 名である。内訳は、一般会員 692 名、院生会員 173 名、学生会員 3 名、名誉会員 10 名、賛助会員 3 名。

### V 日本心理臨床学会からの寄贈（広報誌「心理臨床の広場」）について

中村事務局長より、日本心理臨床学会から広報誌「心理臨床の広場」の寄贈が学会宛にあった旨が報告された。今後の送付は辞退し、今回の寄贈分については希望者がいないため廃棄とすることが提案され、承認された。

### VI 第 32 回大会の発表取消依頼（J-stage 公開予定の抄録からの削除依頼）について

中村事務局長より、第 32 回大会のポスター発表について、J-stage への抄録の掲載を取り消してほしいとの依頼があった旨の報告があった。審議の結果、連名発表者からの依頼であったため、責任発表者から再度、依頼メールを送信するよう伝達し、連名発表者全員の承諾が確認できた段階で依頼通り J-STAGE への掲載を取り消すことと、第 32 回大会準備委員長より大会参加者宛てに説明のメールを流すことが提案され、承認された。

### VII 第 33 回大会について

尾見副理事長より、事前に常任理事会にメールで共有されていた通り、大会準備委員長から口頭発表セッションを設けたいと連絡があった旨が報告され、口頭発表も発表賞の対象になることを確認の上承認した旨報告がなされた。また、大会に関する金銭のやりとりについては JPASS が事務作業をしてくれることになったことが報告された。

### VIII 大会発表賞について

尾見発表賞委員長より、以下の通り報告がなされ、承認された。

第 32 回大会の大会発表賞は以下の 2 件。

- 萩原千晶・下司忠大・小塩真司 非緩和共同性の男女差・年代差の検討—曲線モデルの比較検討—

- 大澤かりん・清水登大・外山美樹 目標追求の高進捗段階で動機づけを高めるには？—サブゴールと進捗モニタリングが及ぼす影響—

上記の結果について、尾見副委員長より受賞者に受賞と次回懇親会招待の連絡をし、その後メールニュースで報告することとした。

#### IX その他

特になし

#### X 次回常任理事会の日程について

2024年3月17日（日）14:00～ 対面

以上